

主催：一般社団法人 東京精神保健福祉士協会 研修委員会

2019年度 スキルアップ研修B

「グループワークの効果を引き出す ファシリテーションとは」

「スキルアップ研修B」は、支援に関する様々なアプローチ方法を学ぶ研修です。

今回の研修では、当事者を対象としたグループの場面において、グループワークの効果を最大限に引き出すためにどのようなことを意識して行っていくかを学べる内容となっています。

「ファシリテーターの役割がうまく担えない」「グループワークの効果って何?」「どうすればグループワークを上手に展開できるのだろう」といった現場での悩みや困りごとの解決に役立つよう、グループワークの原則を基盤にメンバー同士の関わりを高めたいけるようなファシリテーションスキルを学びます。講義と演習を通して一緒に学んでいきましょう!

【日時】 2019年12月8日(日)
13:45~17:30 (受付開始: 13:30)

【講師】 福島 喜代子氏
ルーテル学院大学総合人間学部 教授

【会場】 大橋会館 大教室 (目黒区東山3-7-11)
(東急田園都市線「池尻大橋駅」徒歩 3分)

【受講料】 会員 2,000円 非会員 3,500円

注1) 受講料は当日受付にてお支払いください。

注2) 東京精神保健福祉士協会会員は申込の際に4桁の会員番号を入力ください。

【定員】 30名 ※先着順、定員になり次第締め切ります。

★定員を超えるお申込みがあった場合は東京精神保健福祉士協会会員を優先受講とさせていただきます



※本研修では机を使用しません。各自でバインダー等をご準備いただけると便利です。

講師紹介

福島 喜代子氏 ルーテル学院大学総合人間学部 教授

大阪大学（学士）、カルフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）大学院（社会福祉学修士）、日本社会事業大学大学院修了（博士：社会福祉学）。大学卒業後、社会福祉の民間団体勤務後留学。帰国後、ルーテル学院大学勤務。近年は、対人援助のトレーニング、自殺危機初期介入ワークショップ、IMR（リカバリーと病気の自己管理）導入支援研究、認知症の家族支援研究、スーパービジョン、コンサルテーション等を主に行っている。

<主要著書>

- ・『自殺危機にある人への初期介入の実際～自殺予防の「ゲートキーパー」のスキルと養成』（編著、明石書店、2013年）
- ・「精神保健福祉分野におけるグループワーク～SSTを手がかりに」『ソーシャルワーク研究』36（1）、15-23（単著、2010年）

申し込み方法

右下のQRコードもしくは、下のURLにアクセスして申し込みを行ってください。
申し込みフォーム <https://ws.formzu.net/fgen/S64151452/>

※申し込みフォームにアクセスしたら項目に入力後、一番下の「内容確認画面へ」を押してください。
その後、内容確認画面にて確認し、「自分にも送信内容のコピーメールを送る」にチェックを入れて、「送信する」を押して完了してください。

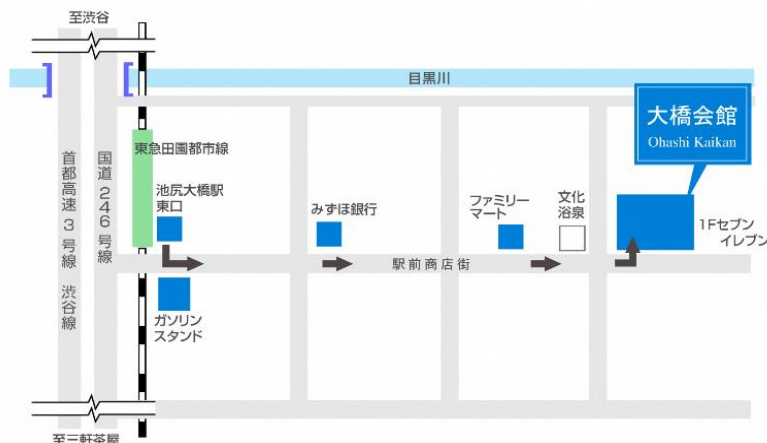


※入会キャンペーンにて当協会に入会された方で研修割引クーポンをお持ちの方は、申し込みフォームのクーポンの項目を有とし、当日忘れずにクーポンをご持参ください。

申し込み期限：2019年11月24日（日）

会場案内

最新のアクセス情報は大橋会館ホームページにてご確認ください。
<https://www.neclivex.co.jp/ohashi/>



問合わせ



東京精神保健福祉士協会 研修委員会
kensyu@tokyo-psw.com

※メールにてお問合せください。